

「環境にっこう」のページでは、日光市の環境に関するお知らせや、情報を発信していきます。

くわしくは 環境課 ☎0288-21-5152

※4月からは脱炭素社会について 環境生活課 ☎21-5152

プラスチック資源循環について 資源循環推進課 ☎21-5138

環境 KANKYO NIKKO

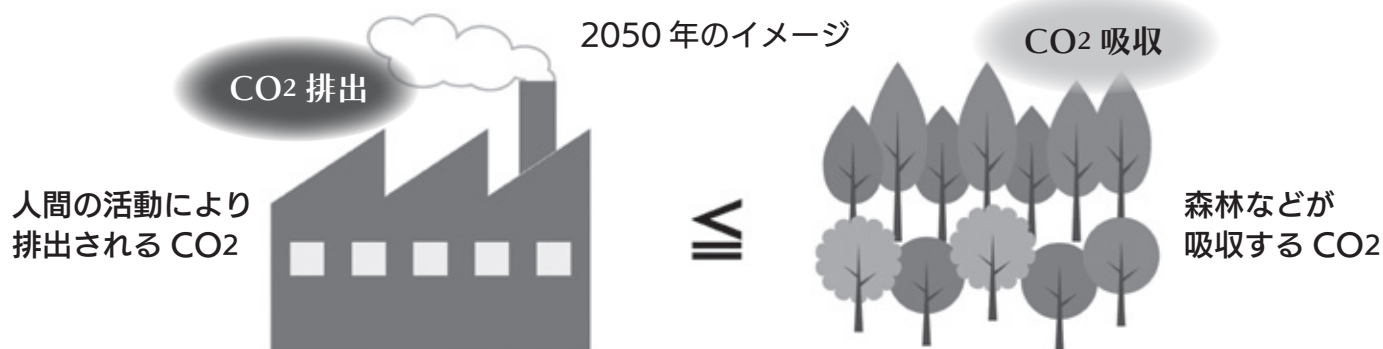
にっこう

No.52

2050年までに、温室効果ガスの実質排出量「ゼロ」を目指します

地球規模で気温が上昇するなど気候変動が進んでおり、台風の大型化やゲリラ豪雨、猛暑による熱中症が増加するなど、私たちの暮らしや自然にも深刻な影響をもたらしています。

これは、人間が活動することで排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが増加していることが原因といわれています。この排出を減らし、気温の上昇を抑えようとする世界共通の動きが、最近ニュースでもよく耳にする「脱炭素社会(カーボンニュートラル)」の実現です。



市では、2021年12月に「2050年までに温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指す」ことを表明しました。再生可能エネルギーの導入や二酸化炭素の吸収源となる森林を有効に活用することで、経済の活性化や魅力ある地域づくりを進めながら、脱炭素社会の実現を目指します。

その実現に向けては、市民や事業者の皆さんをはじめ、さまざまな主体と連携・協働してプロセスや課題を共有し、温室効果ガスの削減・吸収の両面から取り組むことが必要となりますので、ご協力よろしくお願いします。

脱炭素社会を目指すためにできることの例

エネルギーの消費を抑える	温室効果ガスの排出が少ないモノを選択する(クール・チョイス) クール チョイス	ライフスタイルや価値観を転換する
☐ 無理のない室温管理をする ☐ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進め、ごみを減らす	☐ 省エネルギー性能の高い家電に買い替える ☐ 再生可能エネルギー比率の高い電力に切り替える	☐ 太陽光発電など再生可能エネルギーを導入する ☐ ゼロ・エネルギー住宅(ゼッチ) ゼッチ (ZEH)や次世代自動車(電気・水素自動車など)を導入する

令和4年4月1日から、プラスチック資源循環法が施行されます

令和4年4月1日から、プラスチック資源循環法(プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律)が施行されます。海洋プラスチックや気候変動問題などの対策として、プラスチックの資源循環が一層重要になってきます。

市では、ペットボトル(分別回収)や白色トレイ(拠点回収)以外のプラスチックごみについては、燃えるごみとしていますが、焼却に伴う熱エネルギー回収(サーマルリサイクル)により発電を行っています。

